

## 学童クラブ費改定の検討結果について

## 1 検討の理由（背景）

- (1) 学童クラブ費については、平成13年度以来の改定（値上げ）を令和元年度に行い、以降は5年程度で見直すこととなり、令和5年度に学童クラブ費の見直しを検討した。

※前回改定（平成31年4月～、月額5,500円→月額7,000円 ※おやつ代含む。）

- (2) 学童クラブの入会児童数は毎年増加し続けているが、市では待機児童を出さずに受け入れており、そのための施設整備とサービス向上のため運営費も増加し続けている。

＜前回改定時以降の増加額＞

- ・学童クラブ事業（工事、民設民営を除く令和元年度と4年度の決算額の比較）

1億7千万円の増（うち人件費5千万円、指定管理1億2千万円）

R1：約7億円→R4：約8億7千万円（各年度決算額）

※ほか、民設民営学童クラブ関係で7千万円の増

※学童クラブ室新設事業

R1…6千6百万円、R2…2億4千8百万円、R5…4千万円（予算）

※入会児童数…R1：1,884人→R4：2,154人（各年度4/1時点）

- (3) 国の制度設計では、保護者負担割合を、学童クラブの運営に係る費用の5割とされているところ、現在の学童クラブ費（月額7,000円）は、2割程度となっている。

## 2 検討の結果

## (1) 改定額

月額1,000円の増（月額8,000円に改定）

- ・令和4年度決算ベースでは、保護者負担割合は20.8%
- ・保護者負担割合を25%とする場合 … 8,412円／月
- ・千円未満を切り捨て、8,000円／月とする。

※ 前回の改定額（5,500円／月→7,000円／月）の根拠

当時、保護者負担割合が20%程度

→保護者負担割合が25%となる金額（7,000円／月）に改定

## (2) 改定の期日

令和7年4月1日

※令和6年10月以降、令和7年度当初入会申請を案内する資料では、改定後の学童クラブ費を案内